

2026年度石油コンビナート事業所実態調査業務について (コンビナート地域における異常現象等に関する事例分析)

1 概要

本県における、石油コンビナート等災害防止法第2条第6号の特定事業所で発生した異常現象は近年、年間100件を超え、増加傾向にある。

そのような中で、県内石油コンビナート地域で発生した高圧ガス事故を含む異常現象等（以下「異常現象等」という。）のうち、2020～2025年発生分について事例の整理と分析を実施し、その結果を県内コンビナート事業所に水平展開することで、異常現象等の未然防止を図ることを目的とする。

2 業務内容

(1) 情報収集、データ整理・分析

神奈川県消防保安課が所有している石災法第26条に基づく災害・応急措置報告（2020～2025年）及び異常現象事例一覧表を基に、発生原因別に分類し、整理する。

(2) 事例の選定、高圧ガス事故等事例シートの作成

データ整理・分析の結果を踏まえ、事業所の教育等に有益と思われる事例を選定し、異常現象等事例シートを作成する。

(3) 保安への提言の作成

データ整理・分析結果を踏まえ、必要と考えられる事項等を提言*としてまとめる。

また、2015年度、令和2020年度に委託事業として実施した「コンビナート事業所の高圧ガス事故等に関する事例分析」との比較・検証（異常現象の傾向等）を行う。